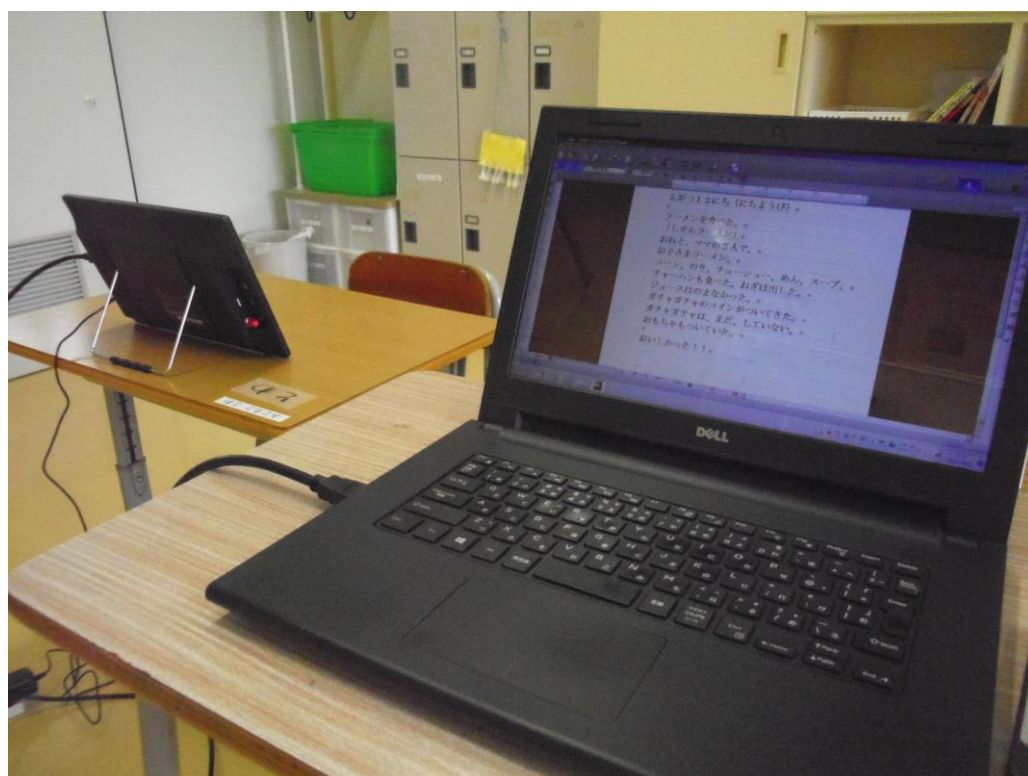


## 小学部

## 中学部

教具名	作文指導を遠隔操作	対象授業等 (内容)	こくご
		学習指導要領 段階	3段階
		太田ステージ	Ⅲ-1 or 2
ねらい	B君に1対1の対面指導をしながらでも、全く学習内容の異なる離れた席のA君に対して、同時に作文指導をするため		



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・PCと遠隔モニターをケーブルで接続。</li> <li>・PCは教員のデスク上で、モニター（タッチ機能なし）のみA君のデスク上に置いて、遠隔で作文指導をする。A君はPCには触れられない。</li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートPC（文章作成ソフト）</li> <li>・タッチ機能がないモニター</li> <li>・HDMIケーブル</li> </ul>
工夫点 及び 効果	<p>・タッチ機能があるタブレットやPCでは、A君は教員の意志に反して絶対に意図的にタッチ&amp;スクロールをしてしまう。また、教員との距離が近すぎることを嫌がる傾向もある。だから適当な距離を保って作文指導に当たりたい。しかし現状ではそれは不可能。また、もう一人のB君からは常時目が離せないし離れられない。そこで、B君に対面状態で指導しながら、離れたA君に対して作文指導をする手段を工夫した。効果は今後・・・。</p>

小学部

中学部

<b>教具名</b> 気持ちカード	対象授業等 (内容)	個別学習 国語 (聞くこと・話すこと)	
		学習指導要領 段階	小学部 2 段階
		太田ステージ	I-3
<b>ねらい</b>	写真やイラストを読み取り、その場面や状況についての自分の気持ちを伝える。		



<b>使用方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象児童にとって身近な学校生活の場面や物事を写真やイラストで提示し、それを見てどう感じたか、気持ちカードを選択し伝える。</li> </ul>
<b>材料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真やイラスト</li> <li>ファイル</li> <li>ラミネートフィルム</li> </ul>
<b>工夫点及び効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなこと、苦手なことを中心に提示し、場面や物事と「うれしい」「こわい」「かなしい」の気持ちが結びつくようにした。</li> <li>はじめは気持ちカードを1枚ずつ順番に提示したり、選択肢を2枚にして提示したりするようにした。</li> <li>ファイルを使用することで、提示する項目を適宜追加したり、児童が自分から次々とめくって確認したりすることができた。</li> </ul>

小学部

中学部

教具名	指先をつかう課題、弁別・分類	対象授業等 (内容)	自立 算数
		学習指導要領 段階	小学部I段階
		太田ステージ	I-2
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目と手を協応させて操作する。</li> <li>・ふたつのものの形や色の違いに気づき、分類する。</li> </ul>		

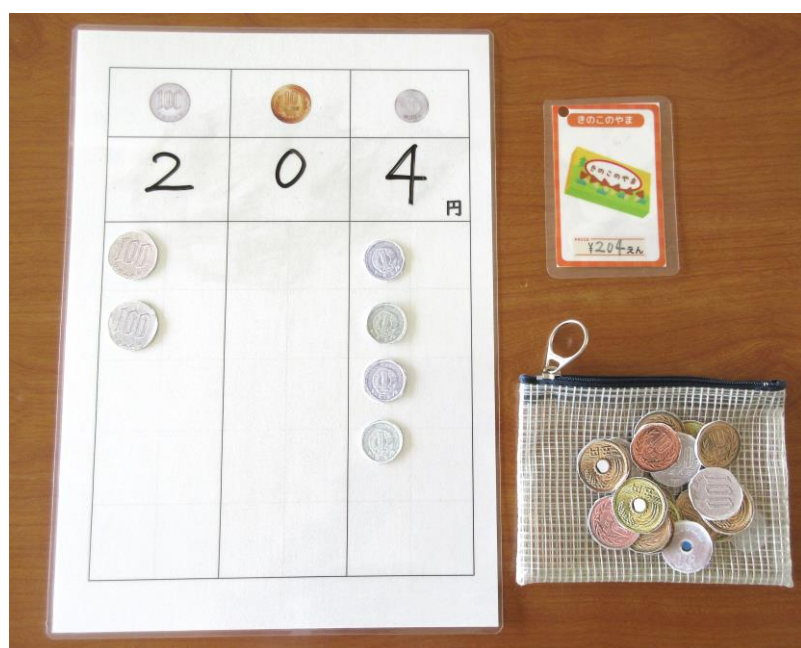


使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指先でつまんで、所定の場所に置いたり入れたりする。</li> <li>・ものの特徴をよく見て、どこに置くのかを考える。</li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・弁別する具体物やカード（数種類）</li> <li>・トレー</li> <li>・箱</li> </ul> <p style="text-align: center;">等</p>
工夫点 及び 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体物は指先でつまみやすいものから、より細かく難しいものへステップアップしていく。</li> <li>・弁別する物の種類や数、色、形等も、児童の様子を見ながら課題を出していくようにする。</li> <li>・学習するときは、ものの違うところに着目したり、毎回必ず目の前で教員が見本を見せて操作の仕方が分かるように説明してから課題に取り組むようにした。</li> <li>・素材を変えることで、指先の動作と、弁別・分類の学習が同時にできた。また、児童の様子を見ながら課題を単純なものにしたり少し難しいものにしたりと臨機応変に対応することができた。</li> </ul>

小学部

中学部

<b>教具名</b> ・ お金シート	<b>対象授業等 (内容)</b>	算数
	<b>学習指導要領 段階</b>	A 数と計算 小学部3段階
	<b>太田ステージ</b>	Ⅲ-2前
<b>ねらい</b>	・ 提示された金額とちよつどのお金を用意することができる。	



お菓子カード



両替シート

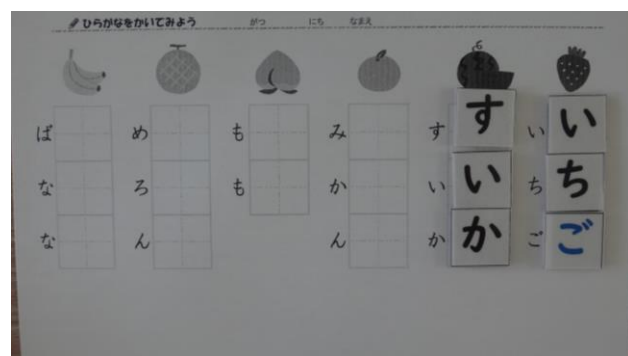
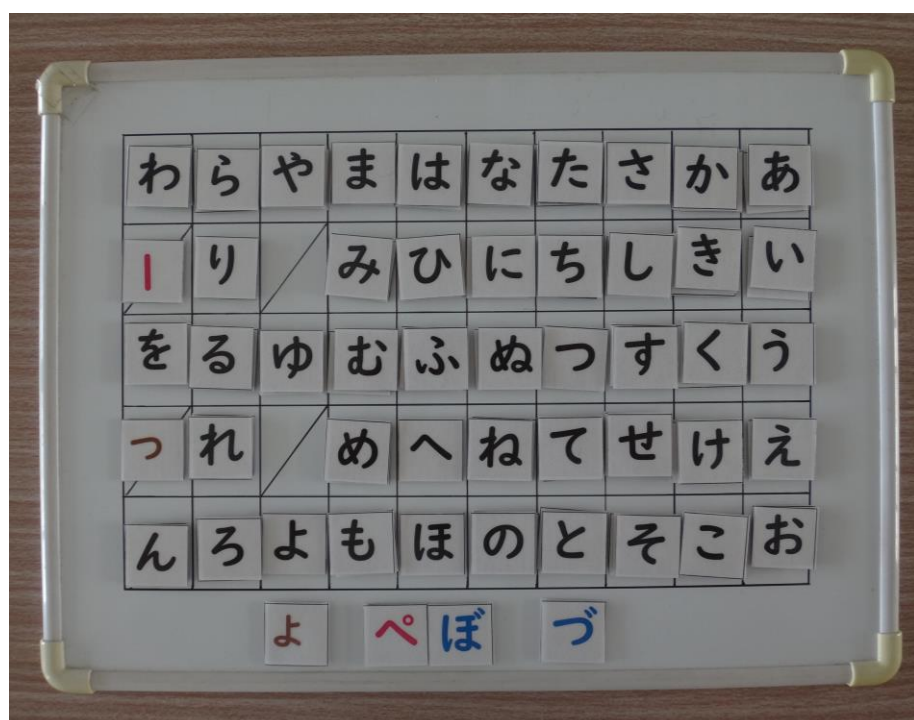


<b>使用方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ お菓子カードから1枚選び、カードに書かれている金額をお金シートの枠に書く。</li> <li>・ 金種ごとに、出す数を確認してお金を並べる。</li> <li>・ 5円、50円を使用するときは両替シートで確認をする。</li> <li>・ お菓子カードの裏面を見て答え合わせをする。</li> </ul>
<b>材料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラミネートフィルム</li> <li>・ お菓子カードのイラスト (対象児童が好きなもの)</li> <li>・ 厚紙、お金のイラスト</li> </ul>
<b>工夫点 及び 効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象児童がスーパーやコンビニでお菓子を買うことが多いことから、お菓子のイラストを使用した。</li> <li>・ お金シートはラミネートがしてあるため、ホワイトボードマーカーで金額を記入して毎回書き替えることができる。</li> <li>・ お菓子カードの裏に、値段分のお金 (イラスト) が貼ってあるため、対象児童が自分で答え合わせをすることができる。</li> </ul>

小学部

中学部

<b>教具名</b> 平仮名50音ボード	対象授業等 (内容)	個別学習(国語)
	学習指導要領 段階	国語 知識及び技能 ア(イ) (2段階)
	太田ステージ	Ⅲ-1
<b>ねらい</b>	・平仮名の単語と平仮名单音を一致させることができる。	



<b>使用方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習プリントに書かれている単語の平仮名を50音ボードから探し、プリントの枠内に置く。</li> <li>・平仮名の単語を音読する。</li> </ul>
<b>材料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100均のホワイトボード(約38×28cm)</li> <li>・マグネット(約3cm)47枚×2セット</li> <li>・ラミネートした平仮名单音カード</li> </ul>
<b>工夫点 及び 効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名单音カードが2セットあるので、「たいいく」など、同じ単音が含まれる単語にも対応できる。</li> <li>・単音カードの裏面に、(半)濁音、拗音、その他として、長音、促音カードを付けた。</li> </ul>

小学部

中学部

<b>教具名</b> 時計の読み方補助シート	対象授業等 (内容)	算数
	学習指導要領 段階	第3段階 C 測定 イ
	太田ステージ	Ⅲ-2
<b>ねらい</b>	アナログ時計で正時と〇時半の時刻を読むことができる	

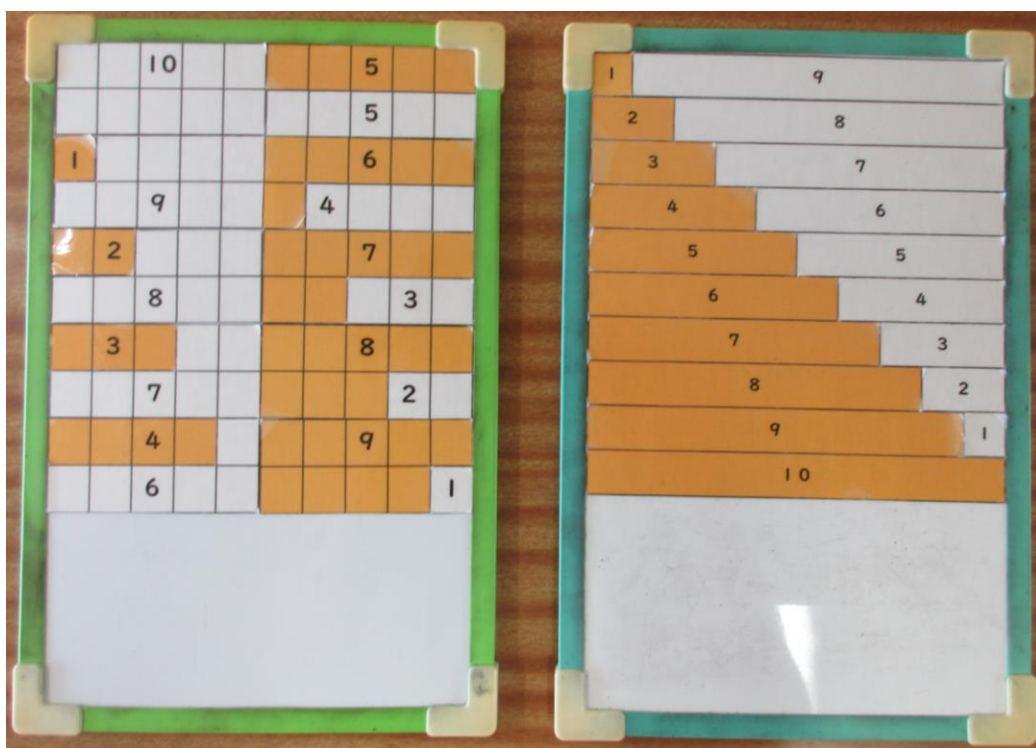


<b>使用方法</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短針がさす場所の色を手掛かりにして、示された時刻を読む。</li> <li>・慣れてきたら、色部分に書かれた数字を消し、色シールを手掛かりに時刻を読んだり、5分ごとの時刻を読んだりする。</li> </ul>
<b>材料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラーセロファン</li> <li>・ラミネート用紙</li> <li>・丸シール</li> </ul>
<b>工夫点 及び 効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級で日ごろから使用している学習用時計につけて使える。</li> <li>・ラミネートフィルムを使用しているため、書いたりはったり、児童の実態に合わせて修正できる。</li> </ul>

小学部

中学部

<b>教具名</b> 10の補数パズル	<b>対象授業等 (内容)</b>	算数
	<b>学習指導要領 段階</b>	小学部算数 A 数と計算 2段階
	<b>太田ステージ</b>	Ⅱ
<b>ねらい</b>	・ 10の補数を理解する ・ 合わせて10になる数の組み合わせが分かる	



<b>使用方法</b>	・ 教師がオレンジのピースを提示し、児童は対応する白のピースを選択して当てはめる ・ 慣れてきたらピースの大きさを隠して、数字を見て対応するピースを選択する
<b>材料</b>	・ ホワイトボード ・ マグネットシート
<b>工夫点 及び 効果</b>	・ 繰り返し学習することで、10の補数がわかるようになった

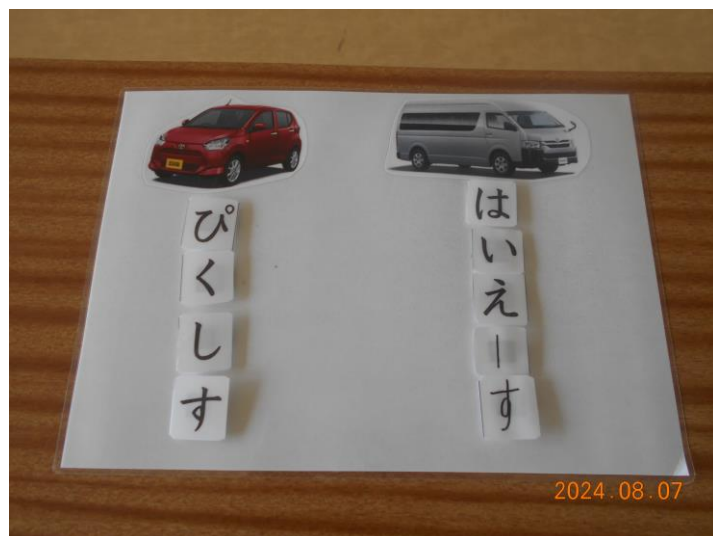
令和6年度

群馬県立桐生特別支援学校

小学部

中学部

教具名	写真と平仮名のマッチングシート	対象授業等 (内容)	国語
		学習指導要領 段階	第2段階
		太田ステージ	Ⅲ - 2前
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一文字一音節への理解につなげる。</li> <li>・拗音、促音、長音を含む平仮名の理解につなげる。</li> </ul>		



使用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拗音、促音、長音を含んだ平仮名を正しく並べる。</li> <li>・車の写真を見て、バラバラの状態の平仮名カードを正しく並べる。</li> </ul>
材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車の写真 (トヨタ)</li> <li>・ラミネートフィルム</li> <li>・マジックテープ</li> </ul>
工夫点 及び 効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トヨタ車への興味関心が非常に高いので、平仮名文字並べの導入段階として使用。</li> <li>・自分から「これは〇〇、これは△△」と嬉々としながら学習していた。興味関心の高い物から学習を開始することで、次の「身近な物」を題材とした平仮名並べの学習への移行もスムーズであった。</li> </ul>